9月1日 木曜日 31日発行
昭和30年 西暦1955年

発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話 代表 京橋(56)8646番
直通 販売(〃)0437 広告(〃)3995
編集局 港区芝金杉川口町13
電話 代表 三田(45)8136番
振替貯金口座 東京170071番

THE NAIGAI TIMES
第3205号（昭和24年6月27日 第三種郵便物認可・昭和24年5月27日国鉄特別扱承認 第232号）
（中華郵政台字第637号執照登記為第2類新聞紙類・内政内警証報備内台警字第0136号）

天気予報

日米会談 第二日

外相、防衛計画を説明

『共同委』の設置提案

【ワシントン三十日発＝共同】[illegible]

コミュニケ発表

[illegible]

【写真は会談する重光外相（前列右）と後列左から岸幹事長、グレイ国防次官補、井口駐米大使（同右）】（AP＝共同電送）

米、全面協力約す

レムニッツァー・砂田会談

日本の自主防衛努力に

レムニッツァー米極東軍司令官は三十一日午前十時五分東京越中島の防衛庁に砂田防衛庁長官を訪ね、約三十分にわたり当面の防衛問題について懇談した。この会談には増原次長、林統幕議長も参加[illegible]

[illegible]たい』と答え、日米間の防衛問題について今後とも非公式にしばしば話合いたいと述べ[illegible]を言外に含めて『日本人の心理をよく研究したうえ、行動してほしい』と米側の慎重な態度を要望。

レ米極東軍司令官

憲法、改めたい

対韓譲歩も用意

重光外相記者会見

【ワシントン三十日発＝共同】[illegible]

[illegible]質問に答える資格はない。

問 共産分子を日本政府はどうするか。

答 共産分子はきらいだ。しかし治安を乱さない限り平等に取扱[illegible]

女の社長さん

斎藤ぬい子さん

夫が生産、妻が販売

仲よくオシドリ社長

○…『社長といっても夫の手伝いという程度で世間様のような女社長でなくロボットなんですの。それに社長になってまだホヤホヤですの』とおっしゃる。斎藤ピアノは二十三年五月の創立、ぬい子社長の就任は二十五年暮だからやっと五年そこそこ、いわばホヤホヤというところかも知れない。だが、石の上にも三年―『業者の会合にはじめて出たとき、女は私ひとりでしょ。ちょっとまごつきましたわ。このごろはどうやら勝手がわかって来ました』ということになる。

○…同社の前身は昭和八年横浜にできた斎藤ピアノ製作所だというから、創立は新しいといっても、会社としてはホヤホヤではない。戦災でそれが焼失し三年後に"ハーモニーの街"浜松にフェニックスのように再建され、彼女の夫君斎藤武司氏が社長になった。製品はドイツ系のルビンシュタイン・ピアノであった。二十四年の暮に練習用かぎ盤で専売特許をとり、翌年の暮に生産部門を分離して武司氏が社長におさまり、十七年間相たずさえて仕事をやって来たぬい子さんが、はじめて販売をやることになり、斎藤ピアノ株式会社の社長になったというわけ―オシドリ・コンビである。

○…『今まで製造一本槍で販売はまだ始めたばかりですが、お蔭で学校、音楽団体、外人と需要は多くなっています。ピアノというと庶民には縁がうすいようですが私のところでは専ら分割払いで皆さんの便宜をはかっています。こないだも音大生をつれた夫婦づれの方が買いに来られました』こんな話を聞いていると、なるほど日本も文化国家になったのかという気になる。

○…『今後の抱負ですか。輸出方面に力をいれたいと思っております。ことに南米方面ですが。もうひとつは大いに儲けさせていただいて主人と一緒に世界旅行をするのが夢ですの』と希望は明るいが『社長といっても夫の手伝いという程度でただの"ロボット"なんですの』とまたまた本音らしい謙遜の言葉が出る。本社は浜松だが去年の十月銀座に進出して大いにはりきっている。

○…夫君のところでつくるピアノは月産四十―五十台を売りさばいているわけだが『まさかこのような商売に入るとは思いませんでした。何しろ子供も大きくなりまして手もかかりませんでしょ。ですから安心してオツトメができるようなわけなんです。仕事と家庭？ そりゃ女はやはり家庭本位ですね』やっぱり、コワイ社長さんよりよきママさんらしい。

○…神奈川県立第一高女を出て武司氏と結婚したが、『結婚してから二十三年になりますが、大した苦労もなく―』つまり結婚生活も事業も順調にいって社長におさまっているというわけで、何とも結構な女社長さんである。明治四十三年生れ。（恒）

【部品の説明をする斎藤さん】

粋人酔筆

回数

矢野目源一

貝原益軒の『養生訓』というのが、昔から疲労を起さない回数の規範となっているようである。ところが、これは孫思邈の『千金方』という医書から引用したものであって、『人年二十の者四日に一たび泄す、三十の者は八日に一たび泄す、四十の者は十六日に一たび泄す、五十の者は二十日に一たび泄す』とあるが、同じ中国でも、もっと合理的な言説もある。

『素女経』という古書には、『人には強弱があり、年には老壮がある。いずれも、その気力に随うので、強いことをやまない。強ければ強いで、快するから損ずる所がある。故に、男の年十五で盛んなものは、日に再び施すべく、痩せた者は一日一たび施すべきである。年二十の盛んな者は一日再び施すべく、弱い者は一日一たび施すべきである。年三十の盛んな者は一日一たび施すべく、劣る者は二日に一ど施すべきである。年四十の盛んなものは三日に一たび施すべく、弱いものは四日に一ど施すべきである。年五十の盛んなものは五日に一たび施すべく、弱いものは十日に一たび施すべきである。年六十の盛んな者は十日に一たび施すべく、弱いものは二十日に一たび施すべきである。年七十の盛んな者は三十日に一度施すべきであるが、弱いものはもう施さない』

益軒のひたすら消極的なのに対して、素女経の方は老壮強弱によって加減してある。

西洋の方のは、一ヵ月の日数（三十）から自分の年齢を二で割った数だけ引き、それを一ヵ月のモラシの最大限にすればいいといっている。つまり四十では30－（40÷2）＝10となって、最大限三日おきということになるが、この計算では六十才の人からは『一体おれはどうしてくれるんだ』と開きなおられそうである。つまりゼロとなるからである。ところが止めてしまっては、また困ることが起るのである。局所の血流をときどきおう盛にしなければ、自然廃用性変性に移行してまったく使いものにならなくなる。そこで他の学者が助け船を出した。

つまり、自分の年齢の上の桁数を二乗した数だけ間隔を置く方法である。

例えば十代では1×1＝1で一日おき、二十代では2×2＝4で四日おき、三十代では3×3＝9で九日という風に断定する。こうすれば、たとえ九十才でも9×9＝81となって望みなきにしもあらずである。九十才でも大丈夫かって、御冗談でしょう。もっと後まで使ったやつがある。あの高級なウィスキーのレッテルに描かれている『オールド・パア』という爺さんなんか、百二十才の時よその女に暴行して十年の刑期をおえて出所してから、また女房をもらい百九十二才まで相変らず用いたというマラソン記録がある。

90才では 9×9＝81

この回数ということが何といっても東西の紳士方の重大関心事であると見え、禁欲日数算定式というものを作っている学者もある。

つまり、これは前のと少しちがって、年齢の十位の数（三十五なら3）に2を掛けたのが禁欲すべき日数になるのである。

この方程式にしたがえば、二十代でも月四日イトナミを休み、三十代は六回の定休、四十代八回、五十代十回休業ということになるが、百五十才になったらもうイケマセン。

ところで、一般に肉体の老衰にもかかわらず性的高進を示すのは異常で、老もう性痴ほうの徴候であるといわれているから、老人のくせに回数を自慢すると笑われるからお気をつけ下さい。ただ、四十の五十のといったところで、六十才の人で四十才の肉体、体細胞をもっている強蔵もあれば、三十才でも普通人の五十才の衰えを示すお弱い方もある。

衰えたなと知ったら『御してもらさず』つまりスタイナッハ博士が輸精管をしばって手術的にもれなくして若返った方法をおとりになればよろしい。しかしこれも程度問題で、あんまりガマンしたりすると、前立腺がはれたりして、とにかくやっ介な代物ザンス。

金融正常化の推進

財政懇談会 大蔵事務当局強調

第二回財政懇談会は三十一日午前十時から三田の蔵相官邸に一万田蔵相、藤枝政務、平田事務両次官はじめ各委員が出席して開かれた。先ず大蔵事務当局から最近の国際収支状況および経済の現状について要旨次のような大蔵省としての考え方を説明、正午すぎ散会した。なお懇談会は明一日も続開、各委員から本格的な意見が表明される。

大蔵事務当局の説明要旨つぎのとおり。

▽国際収支状況＝二十八年度の為替収支が三億一千三百万ドルの支払超過であったのに比べ、二十九年度は三億四千三百万ドルの受取超過となり好調を続けている。これはポンド地域の輸入制限緩和、世界経済繁栄という外的原因と国内の緊縮政策による経済健全化といった内的要因によるものである。

▽経済の現状＝二十八年秋以来の経済健全政策の効果が収められてきている。インフレ的有効需要を喚起する必要は現在なく、インフレのない拡大均衡を図り、金利低下、金詰りの緩和をさらに推進すべきである。こうした金融の正常化によってはじめて輸出の増進も期待できる。三十一年度予算では財政支出の膨張要因が多く、これまでの健全態勢が壊される危険性が非常に強く注意の要がある。

財界春秋

資本家闘将の七癖

三鬼陽之助

共産党の火エンビン時代、財界人で防弾チョッキがイの一番に必要なのはだれだろうと喧しく評議したことがあったが、最有力候補者の一人にあげられたのは日経連専務理事で、通称ピンさんこと、前田一氏である。なんの祟りか、数年前から盲目に近くなっており、日常の動作万端秘書子の手助けを得なければならないが、現に中労委使用者側委員として活躍、資本家陣営のチャンピオンであることは周知の通りである。大小争議対策は、この半盲目の闘将の指令なくては動かないといっても敢て過言でなかろう。一見、いたましい図でもある。

この前田氏、このところ『敬妻家』の新語を発明（？）いわく『僕は愛妻家ではない。いわんや恐妻家でもない。敬妻家である。敬妻とは妻を尊敬する意味である』と、註釈をくわえ一人悦にいっている。夫人を敬愛するが故に、前田家はいままで風波一つたたない由である。ところが、この前田敬妻家先生、唯一、最大の道楽は、客に呼ばれた時、得意の長唄、小唄を一席ぶつことである。これをやらさないと御機嫌すこぶるななめなため、敬妻居士と同席とあれば、肉はあらかじめその覚悟で出かける。天は公平で、傍らの客人が耳に栓をして居眠りしておろうが、ピン先生の好きな芸者と手の握りあいをしておろうが、目が不自由なため、皆目判らない。それ故に、客人側も比較的不満はなく、むしろこの機会に手を握るなどの役得に接しうることを喜んでいる不テイの財界人もいるが、当のピン先生は、十数年来かかる境地に浸潤満悦しているため、その芸たるや、いまでは素人はだしの境地に上達している。

この今様塙保己一先生、目が悪くなってから、特殊なクセを発生した。それは赤毛布に座って、いざうなら出す直前[illegible]のシャミ線をひく女性の後局部（つまりシリ）を思いきりツネらないと開始しないのである。羨やましいことに、相手の女性もそれを覚悟している。たまたま、それを拒否したまま開始しようものなら、五分の約束が十分、十五分、三十分ともなる。

これは無粋の客人のよく耐え忍べることではない。それを相手の女性も心得ているため、あえて半盲目の闘士の御意のままになるのである。

いま財界人の癖で思い出すと吉田内閣の大蔵大臣をつとめ、同時に経済最高顧問の栄職にあり、かつての三井財閥の総帥的立場にあった向井忠晴老の『ヤ[illegible]の挨拶代りに相手の局部をキューと握る癖を筆頭に、酔いが回ると、ヒゲづらで無暗にキスをしたがる片や昭電事件の日野原節三、造船疑獄の保野健輔の御両所がある。さらに硬派では、議論に熱中すると相手構わず散々悪口をいって、あとでケロリとすました顔をする東宝常務の馬渕威雄、金融筋を客に招待しながら話題に熱狂すると、いつの間にか自分が床柱でアグラをかいて、どなっている藤田興業社長の小川栄一がある。この小川、馬渕、水戸高校の先輩後輩ときくから争えないものがある。いずれ財界人の七癖八癖を御紹介することであろう。

米、難色示す

余剰農産物借款

【ワシントン三十日発＝共同】[illegible]度（本年七月から）余剰農産物の受[illegible]米国側と第一回の[illegible]だが、米国側は[illegible]内訳について難[illegible]問題について[illegible]開かれる。

具体的取決めは東京会談で

[illegible]

中共加盟は望み薄

【ニューヨーク発三十日AP＝共同】エンテザム駐米イラン大使（元国連議長）は三十日『近く開かれる国連総会では中共の加盟は恐らく認められないだろう、今年中に中共が国連加盟を認められる可能性はうすい』と述べた。

民主党総務会

民主党は三十一日午後一時すぎから党本部で臨時総務会を開き、高碕企画庁長官から日比賠償の経過について、川島自治庁長官から地方財政の問題点と再建方針についてそれぞれ説明があった。この日の総務会は両相の説明を聞くにとどめた。

日ソ交渉

抑留者名簿 近日中に手交

海峡航行権で話合

【ロンドン三十日発＝共同】三十日の第十三回日ソ会談は午後三時（日本時間三十日午後十一時）からソ連大使館で開かれ、二時間二十二分という交渉開始以来最も長い会談となった。この日の話合いで明らかとなった重要な点は、次のようである。

▽約千四百名の在ソ抑留者のリストは、二、三日前にロンドンのソ連大使館に到着したが、リストに間違いやあいまいな点があるのを発見したので、ソ連大使館でモスクワに問合せている。このリストは四、五日中に日本側に渡されるだろうとマリク全権は言明。

▽三十日の交渉では海峡航行権問題が中心になったが、この問題と条約の成否を決する最重要問題である領土問題については、ソ連側も、日本側もまだ手の中を見せていない。

市況

物色買続く

前日引際の立直りの気配をうけて資源、商社株中心に物色買が続いているので、全般は依然堅調をうしなっていない。特定株は平和不が大幅、合同の万単位の買物に新値を切ったのにつれて、おおむね一一五円局と強調、雑株も野村が引続き資源株にまとまった買物を入れて、この一角は軒並み引締り、また物産の合同決定から商社株が動意をみせるなど一般も売物薄と相待って小幅ながら続進歩調をたどっている。この間カーボンがストの長期化をいや気されて六円安の三十四円と売られたのが目立った▽安い株＝カーボン六円

東京株式仲値

□新株落△配当落（31日前場終値）

銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値
				倉レ	103	小西六	125
				旭化成	364	カボン	34
				山陽パ	115	三井物	160
特定銘柄				日本パ	111	第一物	116
東海上	275	信越化	84	国策パ	124	白木屋	—
郵船	67	東高圧	131	東北パ	134	高島屋	84
新三菱	87	昭電工	97	大東紡	108	日活	68
日新紡	273	日本曹	86	商船	49	松竹	203
味の素	284	旭電化	85	三井船	53	東宝	—
三越	302	三菱造	91	飯野海	52	大映	195
三菱地	498	三井造	120	西武	367	日本粉	138
平和不	209	三菱重	64	藤田興	224	日清粉	162
三井金	121	石川重	96	東京ガ	72	日本ビ	175
三菱金	115	[illegible]工	132	東電	590	朝日ビ	185
日鉱	114	東洋ベ	112	日銀	2000	キリン	205
住友金	119	日立造	54	東銀	60	宝酒造	108
三菱鉱	51	浦賀	53	三井銀	69	台糖	263
古川鉱	85	日平	18	富士銀	87	明糖	139
同和鉱	141	古河電	74	日証金	94	甜菜糖	144
住友炭	63	日立製	78	安田火	116	野田醤	194
三井山	64	東芝	76	大正海	100	森永	290
北海炭	64	三菱電	94	住友海	92	明菓	190
東邦亜	70	小松	53	千代田	—	日水産	89
帝石	80	日本光	140	[illegible]	80	昭和産	105
日石	117	キヤノ	154	日製鋼	69	東洋糖	84
昭和石	137	東京光	35	八幡鉄	60	合同酒	131
東燃	135	東洋紡	148	富士鉄	55	三楽	107
三菱石	136	鐘紡	123	神戸鋼	58	大阪糖	183
大協石	132	富士紡	112	日特鋼	123	王子紙	222
日東化	84	大日紡	84	日軽金	207	十条紙	240
日産化	77	日東紡	59	日金工	65	本州紙	92
三菱化	94	片倉	39	日セメ	154	三菱紙	89
三井化	117	東邦レ	111	磐城セ	261	北越紙	61
協和醗	119	帝麻	45	小野田	90	三井不	803
東合成	127	中織	50	横浜ゴ	158	三井倉	85
三共薬	176	帝人	144	旭硝子	157	渋沢倉	80
		東洋レ	185	富士写	143	東洋埠	188
		三菱レ	131				

内外抄

安全保障条約改訂に日米会談で一致。重光外相に花を持たせたが、国民には実を持たせてほしい。

◇

ソ連やっと抑留者名簿を提示の運び。ランデブー最中の日本嬢の気を引くテを考えるんだね。

◇

戦犯ABCの釈放は日米関係強化へのABC、これだけでも重光に持たせる相当な土産になる。

◇

七千四百万石、瑞穂の国有史以来の大豊作、この際馬力をかけて統制撤廃へ持ってゆけ。

◇

『スポーツ局』で得点者川崎厚相に、フェアー・プレーでないと文部省から苦情。ごもっとも。

ないがい川柳

吉田特選

小坊主の叩く木魚もマンボ調　市川　上田将風
台風がそれてくやしい金バツジ　文京　木村いつ秋
上京の母ワンピース着て帰り　千代田　南渡波
山小屋をある夜覗いた雪男　世田谷　いろは
更け切った星座大人も子に還り　港　瀬谷蒼美
札束で口説くにんにく臭い息　港　三上とんぼ
【寛】流れゆく雲にほどよき山の位置　北　笙之助

青春無宿 (114)

大林清 作　下高原健二 画

囮（六）

『かかって来ないわね』

電話の前に立っている次郎へ、千子が言った。

『次郎さんを出すって言ったんだから、待ってればいいのにね。でもきっとあわてて帰って来るでしょう』

千子が次郎を呼んでいる間に、電話は切れてしまったのだった。もっともその時は、受話器を耳から離していたのだから、光代が何か言ったのを、聞き逃したのかも知れなかった。

『麻布には何か心当りがありますか』

この時間に行くにしては妙な場所だったので、次郎は気になっていた。

『さァ、それがねえ、何しろあなたのアパートへ行った足でしょう、ちょっと見当がつかないわね』

千子は首をひねったが、たいして心配している様子もない。

もう閉店の時間は過ぎていたが、今夜は三組ほどの客が席を動かず、女給たちも電車が間に合わなくなる者のほかは残っていた。

『いいじゃないの、飲みましょうよ』

千子は陽気に言って、カウンターの内側のバーテンにハイボールを注文した。

『そんなに光ちゃんが気になるなんて少しおかしいわよ。光ちゃんにはあのアコーデオンがいるってことを、次郎さん知ってる筈じゃないの』

片意地悪くそう言われると、次郎は弱味を見抜かれたような気がして、スタンドのもとの椅子へ腰を乗せた。

三原橋際のスマートボール屋の店頭で、東藤に聞いたところでは、光代は松坂屋横のレストランを、安南人たちといっしょに出て行ったということだった。その二人の安南人はソロジェムとヴァルマンらしく思えたが、今までは光代が彼等とすぐ別れたものと考えていた。偶然銀六アパートで落ち合ったとしか思えないし、それならば光代と彼等の間に話のある筈もなく、安南人たちが例の押しの強さで、光代をレストランへ連れこんでいたものだろう。

次郎は東藤と別れた足で、まだ離れない兆子を連れたまま、光代たちがいたというレストランへ行ってみた。東藤から聞いた以上のことは、何も聞き出せなかった。その場ですぐスカーレットへ電話をかけたが、光代は出たままもどっていない。

次郎はそれからの一時間足らず、兆子をまくのに苦労した。兆子の方もいい加減根負けしたらしく、必らずあとから来てくれるならと、二、三度行ったことのある丸の内のホテルで待っていると言い、その所を書いた紙片を渡して、やっと次郎を解放した。

だから次郎がこのスカーレットへ現れたのは、たった今なのである。

『さァ飲みなさいよ、いつかの約束通りあなたはこの店の宣伝顧問なんだから、サラリーがわりにいくらでも飲み放題よ』

千子はハイボールのグラスをとりあげ、次郎にもその一つを持たせた。

次郎は仕方なく一と口飲んだ。ハイボールなど水のようなものだった。

『あなたからさっき電話があった時、あたし外へ行っていなかったけど、ブルドックの六っていう嫌な奴がお店へ来ていたのよ。ほら、光ちゃんが"青い星"にいた頃から張っていたって奴よ』

家出女高生夏休み報告

東京の華やかな生活にあこがれ、また少女歌劇のけんらんたる"夢の舞台"を一目みたいものと、九州は福岡市H女子高校三年生の仲良し三乙女が、夏休みを利用、家出同様に上京してみたものの、忽ち"東京の狼"らにガン（眼）づけられ、十重二十重と巧妙に仕組まれたワナにひっかけられた挙句の果に、うち二人が吉原の特飲店に一人二万円ナリの前借金で売りとばされたという"制服乙女の人身売買"の事例が、目黒署の摘発で明るみに出された―。さきに同じ九州の南端、鹿児島県下で起きた"松元事件"をはじめ、引き続く全国各地の少女売買に伴う売春強要のにくむべき事例が識者の注目をうけている折も折、現に在学中の制服の女子高校生が、何も知らされず公然と"肉体のどろ沼"に落ち込まされたという点で、この事件は女高生指導上重要な意味をもっているといえよう――三少女を言葉巧みにだまし続けたこの事件の立役者、主犯の夏川米雄(三八)＝荒川区南千住八の四四簡易旅館大成館止宿＝は『東京には悪いやつが多勢いるから親切に話しかけられても安心してはいけないよ』と、まず相手にクギを打ち込んだらすっかり信用され『こちらが聞かなくても家出の動機や家族のことまで彼女らがしゃべってくれた。あんな小便臭い小娘の一人や二人、だますのはおやすい御用』といい、また夏川と共謀して二少女を吉原に売りとばす周旋をした小林さき(三九)＝台東区浅草日本堤二の一九＝は『東京ってとこを全然知らずに家出してくるんだから面白いようにだませるさ』と、うそぶいているが、実際まだまだこの東京の空の下には夏川、小林らのいう通りだまされ、売りとばされて『転落コース』を歩む婦女子がいることは事実で、またこうした"狼ども"の網の目は駅の玄関口からドヤ街の裏口まで一杯にはりめぐらされていることだろう――以下目黒署の調べから『女学生のお女郎六日間』を経験させられた女子高校生の手記を中心に"東京の狼"らの手口などを調べてみた――。

華やかなフィナーレ、彼女らはポーッとするばかり

"狼"は劇場の客席にいた　つい甘言にだまされて

◇まず彼等"東京の狼"の人身売買の手口をこの事件から拾ってみると――上京した三女子高校生が夏川と知り合ったのは浅草国際劇場の客席だった。彼女たちの上京第一日目七月二十一日のこと―けんらん豪華なレビューがフィナーレとなり、その甘い興奮からまださめぬまま、夢みる心地の彼女ら三人のうちの一人石原芳子さん(一七)＝仮名＝の隣りの席にいた男が不意に話しかけて来た。『お嬢さんたち、舞台を見るのは初めてでしょう、あんなにうれしがっていて――すぐ判りますよ、高校生ですね、家出して来たんでしょう、宿はありますか、変な男につけ狙われると大変だから注意しなさいよ』

◇親切そうな言葉にうなずいている彼女たちに、この男はまた語[illegible]

な物腰に『とても悪い人とは思えなかった』とはあとで警察で語った彼女たちの話。『若い娘を信用させるのは第一印象が大事だ。いくら田舎の九州ッ子でも娘十七才ともなれば思春期、見知らぬ男性に話しかけられても身を守る本能はあるはず、家出してくればそれだけの後悔心はあるし、その上夢のような感覚から不意に現実にもどった瞬間の心の不安につけこんだのが成功の第一歩』とこれは夏川が係官に語った話。

◇ともかくすっかり信用した三人はその夜、夏川の止宿している南千住のドヤ大成館に案内され一泊二百円で泊った。一夜明けて初めての東京の朝『夏川さんをはさんでみなと一緒に話し合いました、とても頼もしい人で、私達三人のこれからのことは夏川さんに一任、早く良いお仕事を探して下さいと頼んだわけです』（岩城鶴子さん(一七)＝仮名＝の話）『ここまで信用されればあとは簡単、知り合いの小林さきに話をつけて芝浦の料亭や芸妓置屋に世話したまでのことよ、最初から吉原と考えたがいくら俺でも制服の女高生は世話出来なかったし、また芝浦にいるうちには"裏"を知るからそれからの方が吉原に世話し易いと思った』（夏川の話）こうして夏川が約束した良い就職先は実際は芝浦の三業地だった。三人は別々の店に世話されたが、料亭[illegible]女中見習となった石原芳子さんは、見るもの聞くもののあまりの想像違いに驚き、翌二十三日店から四千八百円を盗み出して一人で帰郷してしまったので、残った岩城鶴子さん、北村美代子さん(一七)＝仮名＝の二人は驚いて夏川方に集った。『石原が金を盗んだのは君達にも責任がある。働いて返さねばならない、早く金を返すために前借りのきく店で働いてくれ、さもないと僕の立場がない――』こうして夏川は本能的に泥沼の臭いをさとって逃げた芳子さんの責任を[illegible]にかぶせ、吉原に小林[illegible]の制服の乙女を一人二[illegible]で売りとばし、その金は自分らの懐にしまいこみ、二人の少女達に[illegible]かかったわけである。

上から夏川米雄、小林さき、塩野茂夫、同初江

女学生のお女郎さん　6日間の記録

[illegible]

二人の女学生が装いこらして店に出た新吉原の『初菊』

[illegible]たんだわと思い『仕方ないわネ』と鶴子さんと話し合った。けれど夜になってこのお店が何んであるかを知ったときのおそろしさ……。この夜はお内儀さんが『早く寝なさい』といったので鶴子さんと二人で四畳半の部屋で寝たが、恐ろしさで二人ともまんじりともせず『どうしよう』と相談したが、いい知恵は浮ばなかった。

◇七月三十一日　昨晩まんじりともしなかったのでとてもねむい。けれどこの店の正体を知ったおそろしさでそれどころではない。午後四時ごろまではお掃除やらで忙しかったが、仕事が終るとお内儀さんに呼ばれ、何んだろうと行くと二着の洋服を私達に渡し『さあこれを着てごらん。お化粧をすれば立派な女になるよ、こわいことはないから今晩からお店に出るんだよ』といわれた。私達は一瞬ガクガクふるえて何もいえなかった。いよいよ来るべきときが来た。まさか―と思ったのに……思わずまたお母さんの顔が目に浮び泣き出してしまった。するとこの女給さんらしい人が来て『あなた達可哀想ね、はじめは誰もそうして泣いたものよ、いまになれるわよ』と慰めてくれるのか私達の事情も知らないで……と情なくなってしまった。お内儀さんがせきたてるのでいやいやながら渡された洋服を着、いわれるままお店に立った。前を歩く人達の顔もみえなかった。ただおそろしい気持で、そこに立っている自分が私だとはどうしても思えなかった。あすは死んでしまおうかと頭をかすめた。鶴子さんの顔をみると青ざめて考え込んでいるのがわかる。何が何んだかわからなくなってきてしまう。そのうちお内儀さんが私を呼びにきた。『お客さんだよ』と三十才前後の男の人を私につけ、お部屋に連れてゆかれた。布団の上の二つ枕を見て思わずフラフラと崩れた。そのお客がびっくりしたようだった。あとは何もわからなかった。

◇八月一日　おそろしい無我夢中の一夜は過ぎた。朝起きるとすぐふるえが止らないような気がした。またすぐ母の顔を思い浮べた。母はこんな恐ろしい出来事を知っているだろうか。いや知るはずはない。私ってどうしてこんな悪い子になってしまったのだろう。それにしても私はいつまでもこの家にいなければならないのだろうか。悔悟の心が私の全身を襲った。福岡に帰った芳子さんが憎らしくうらやましくなる。あの人のために私達がこんな身体になってしまったんだと思うとたまらない。官吏である厳格なお父さんになんといっておわびしよう。東京に来るんではなかったと、とめどなく後悔の涙がほとばしってくる。今晩も昨夜と同じ恐怖の一夜を過ごした。

無我夢中の初夜
女中奉公、正体知ったその怖ろしさ

◇八月二、三日　初めての晩から少しなれてきたものの、恐怖と苦悩の夜が続く。私はこんな空気になれてくることが恐ろしくなってきた。お父さん、お母さんご免なさい。

◇八月四日　もう夜のことは恐ろしくて思い出すのも嫌になる。午後部屋で寝ていると女中さんが私と鶴子さんを呼びにきた。また何か嫌なことをいいつけられるのではないかとヒヤヒヤしながらゆくと、お内儀さんは二人の男の人に何か調べられていた。私にはその人達が刑事さんだということがわかった。刑事さんは『北村美代子さんと岩城鶴子さんですね、もう大丈夫です安心なさい、お父さん達のところへ帰しますよ』といった。私はあまりの嬉しさに鶴子さんと抱きあって大声をあげて泣いた。こんな嬉しかった気持は生れて初めてだった。私達は助かったのだ。もうあんな恐怖の夜は過ごさないでもすむのだと思うと嬉し涙が流れて困ってしまった。内儀さんも私達の顔をみつめるだけで何もいわなかった。やがて内儀さんと一緒に刑事さんに連れられて警察に行き夏川さんと小林という女の人にも会った。この人達が私達にたとえ六日間でも死の苦しみを与えたのだと思うとほんとうに憎らしくなった。私は救われたのだ。しかし父や母のいる家へ帰って、いままでの出来ごとをどう語ったらよいか心配になった。しかしその心配よりも、家に帰れる喜びが大きかった。ともかく早く帰りたい。悪夢のような東京の十数日間、ほんとに恐ろしい人達のいる東京。それをふりかえって私は『もう二度と東京にきません、私はやっぱりあの田舎の街と、母と父が一番好きです』と心に誓った。

風流世界譚　…（日本）…

現代はMとWのさかさ時代だそうで、女らしい男や男らしい女がウヨウヨ…。このまま行ったらどうなるか先が思いやられますが、『千用波が荒れる位でなくちゃ』と初秋の鎌倉くんだりにでかけたP子嬢。ボーイフレンドに、波でひっくりかえったクラゲを指さし『あんなの陸にもあるわね』と"ガマゴジラ"ぶりを発揮しています。何せ髪はリーゼントスタイルでマンボズボン、ワイシャツの腕まくりといういでたちの上、M要素過剰の言葉つきですから、ちょっとみた目には男も変りません。これがP子嬢礼賛のメラ男君たちを従え、傍若無人のオテンバ振りを発揮しますので、浜のナラズ者は白い歯をむき出してにらんでます。それとは知らぬP子嬢、ゴロンボの一人が投げ出した足につまずくと、彼好機ござんなれとばかり立上り大喝一声『ヤロー』これにはW過剰の取巻き連真蒼になりましたが、P子嬢悠然たるもので『ヤローったってあんた、こう陽が高くちゃ気分が出ないワよ』

モダン歳人記

関東大震災

大正十二年九月一日午前十一時五十八分、関東地方に起った大地震は大東京の半分を灰燼に帰し、数万の惨死者を出したが、中でも本所の被服廠跡の惨状がひどく、また籠の鳥といわれた吉原の娼妓達が、廓内のオハグロ池を埋めて焼死んでいたのも悲惨の極みであった。B29による戦災の時もそうであったが、男の焼死者が仰向いて死に、女の焼死者が俯むいているというのも不思議な現象で、その衣服を焼かれて裸体となっている焼死者や、皇居前の濠端で女達が行水を使っている写真等が、あのころには猥写真なみにひそかに売られていたものである。

東大教授の大塚保治博士は、その芸術論の講義で、この震災の悲劇をダンテの神曲地獄篇に比較してのべられていたが、残虐美の一例としてそ[illegible]的な観方も出来よう。[illegible]がまだ一般化されない[illegible]着もスカスカの腰巻な[illegible]な非常時にははなは[illegible]好を示していた。避難[illegible]なった省線の線路伝い[illegible]たが、駅のホームに上[illegible]度に女達はしっかりか[illegible]どうしてかくしたらい[illegible]したものだ。忘れられ[illegible]一断面である。

東海毒婦伝　青とかげ（55）

野沢純　作　土端一美　画

情炎卍（十）

[illegible]橋を渡って脱兎の如く、[illegible]は夢中で逃げた。

呼び笛と共に、岡ッ引の[illegible]って来る。

辻の番所の灯影を避けて、[illegible]郎は木場の材木置場を斜めに[illegible]た。堀りをくぐって、立てかけ[illegible]太が一本崩れると、続いて[illegible]らガラガラと、おびただしく[illegible]に倒れた。

更けて静かな路地うちを[illegible]も曲った。

呼び笛の数が、俄かにふ[illegible]木戸から木戸の町中を、[illegible]で逃げてはヤバイと思う。

折から丁度さしかかった[illegible]船板塀に見越しの松。枝ぶ[illegible]いのを見かけたとっさに、[illegible]さっそくの足場に、その[illegible]

[illegible]

楽屋裏で人気スターを待伏せる女学生ファンの群

ラジオ・テレビ　31日（水）

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 ❶子供のシンブン❷音楽物語『印度の歌』安双三枝　25 新諸国物語『オテナの塔』	05 英語会話◇きょうの市況　30 受信機講座 市原嘉男　40 科学小説『海底一万里』	10 東西こぼれ話 高野アナ　15 スイート・コンサート　25 ファイヴ・ゲーム	00 劇『少年宮本武蔵』　10 劇『すずらん太郎』　25 バンド・タイム	00 ポツポちゃん物語　15 少年探偵団 真杉和夫　30 歌謡百貨店 永田とよ子
7	15 録音ニュース　30 即興劇場 舞台監督・藤倉修一 清川虹子 加藤玉枝 中村紀子子 大塚博他	00 名曲鑑賞 ラヴエル・ピアノ曲集 カサドジュ演奏　30 電子顕微鏡で見た世界 京大助教授・東昇	10 録音ニュース　20 ホームソング 長門美保　30 劇『織田信長』中村錦之助 小池朝雄 西田昭市他	00 録音ニュース　10 岡晴夫特集『途中下車』他　30 チエミと唄えば 有島一郎 江利チエミ 旗照夫	00 ラジオ夕刊（耳の新聞）　20 花のステージ大坪シゲ子　30 ものまねノド自慢 金語楼 笠置シズ子 三浦洸一
8	00 ❶落語『三方一両損』三笑亭可楽❷俗曲 秋の夜ほか 浅草〆香❸落語『化物使い』桂三木助	05 座談会『最近の海運・造船界を語る』米田富士雄他　30 農村の歩み『牛の立場・機械の立場』（広島県）	00 劇『珠はくだけず』北村和夫 高橋昌也ほか　30 今宵たのしく 越路吹雪 池部良『ロマンス』ほか	00 歌のチャンピオン 関光夫 林伊佐緒　30 劇『娘ひとり』乙羽信子 小園蓉子 竹内文平ほか	00 私の選曲 丹下キヨ子 他　20 お笑い家庭相談所　40 劇『浪花一代男』中村扇雀 中村鴈治郎 中村芳子
9	05 ニュース解説 小川和夫　15 歌劇『売られた花嫁・第一幕』笹田和子 伊藤京子 柴田睦陸 秋元雅一朗ほか	00 舞台劇『伊勢音頭恋寝刃・古市油屋の場』海老蔵 梅幸 左団次 福助 多賀之丞 権三郎 橘蔵ほか	10 追憶の泉"友に寄せて"『ラ・セーヌ』ほか　30 しろうと寄席 牧野周一 木下華声 春風亭柳好	00 ジャズヒットパレード トニー谷 雪村いづみほか　30 S盤アワー『セレソローサ』『月光のセレナード』他	00 劇『もう夜があける』津村悠子 伊志井寛 小堀誠　30 浪花節『五ツ木物語・無情の巻』二葉百合子
10	15 新しい道 青山京子 山内雅人 荒木玉枝ほか　40 ラジオ喫煙室 森繁久弥	00 ❶初級解析 佐藤忠❷上級英語 梶木隆一　45 気象通報	05 きようのニュースから　15 劇『人情馬鹿物語』　30『弦とリズムの夕べ』	00 大学受験夏季実力錬成講座 英文法 黒田巍　30 国語（現代文）長谷川泉	00 劇『南無三宝』本郷秀雄　15 リズム・フラッシュ　30 巴里の街角 芦原英了
11	10 最近のヨーロッパの話題　20 随筆『コマクサ』中村浩	05 中小企業相談所の窓口　20 試験切片の取り方	10 座談会『紛糾する砂川』海野晋吉 宮崎伝左衛門	00 斬捨御免『砂田長官の考え方』◇組曲『子供の情景』	00 スポーツ・カレンダー　15 奄美から来た子供たち

テレビ

★NHK★　◆6・00『家なき子』かかし座◆6・30『俳優修業』杉村春子 水谷八重子◆7・10 こんにゃく問答◆7・30 ショウ『失われた青春』森繁久弥ほか◆8・00 プロ野球実況『南海―西鉄』（大阪球場から）

★NTV★　◆6・00 世界ニュース◆6・15 漫才『スポーツ入門』天才・秀才◆6・30 ゼスチュア・クイズ◆7・30 ボクシング・ダイナミッククグローブ『吉橋厳―堀口篤久』ほか◆9・15 座談会『震災と近代消防』

★KR★　◆6・00 マリオネット『安寿と厨子王』◆6・20 映画『蔬菜農園』◆7・00 映画『双児のロッテ』西独ナチオナル作品◆8・40 映画『小鳥と兎』ほか◆9・15 座談会『海の散歩』 楡山美夫 佐々木忠義ほか

あすの番組

NHK第1	NHK第2	ラジオ東京	日本文化	ニッポン
7・45 朝の訪問 鷲坂清信	8・00 録音ルポ手術室の器械	8・20 ラジオ・スケッチ	8・25 おしゃべりレディ	8・00 劇『サザエさん』
8・05 名演奏家の時間	8・30 大作曲家の時間	9・45 オネストジョン（古谷）	9・30 劇『青春のあるところ』	9・00 連続劇『お笑い一家』
8・30 私の夢 山本一清	9・00 きようのラジオクラブ	10・10 名作アルバム暁の合唱	10・40 劇『君ひとすじに』	10・00 やりくりチヨ子さん
9・35 合唱『魔弾の射手』他	10・45 名作を訪ねて福田清人	11・15『まいまいつぶろ』	11・35 連続劇『東京の人』	11・00 連続劇『悦ちゃん』
10・05 けさの話題 小田善一	11・15 綴方『下関今昔』	12・15 落語『本膳』林屋正蔵	12・00 昼の演芸◇歌の花束	12・00 お笑いバスケット
11・15 私の本棚『指』	12・30 タンゴは招く	1・30 世界母親大会より帰る	1・00 演芸欄◇ラジオ寄席	1・00 連続劇『えくぼ横丁』

家出高女生夏休み報告

華やかなフィナーレ、彼女らはボーッとするばかり

"狼"は劇場の客席にいた　つい甘言にだまされて

な物腰に『とても悪い人とは思えなかった』とはあとで警察で語った彼女たちの話。『若い娘を信用させるのは第一印象が大事だ。いくら田舎の九州ッ子でも娘十七才ともなれば思春期、見知らぬ男性に話しかけられても身を守る本能はあるはず、家出してくればそれだけの後悔心はあるし、その上夢のような感覚から不意に現実にもどった瞬間の心の不安につけこんだのが成功の第一歩』とこれは夏川が係官に語った話。

㊤から夏川米雄、小林さき、塩野茂夫、同初江

◇ともかくすっかり信用した三人はその夜、夏川の止宿している南千住のドヤ大成館に案内され一泊二百円で泊った。一夜明けて初めての東京の朝『夏川さんをはさんでみなと一緒に話し合いましたとても頼もしい人で、私達三人のこれからのことは夏川さんに一任、早く良いお仕事を探して下さいと頼んだわけです』(岩城鶴子さん(一七)=仮名=の話)『ここまで信用されればあとは簡単、知り合いの小林さきに話をつけて芝浦の料亭や芸妓置屋に世話したまでのことよ、最初から吉原と考えたがいくら俺でも制服の女高生は世話出来なかったし、また芝浦にいるうちには"裏"を知るからそれからの方が吉原に世話し易いと思った』(夏川の話)こうして夏川が約束した良い就職先は実際は芝浦の三業地だった。三人は別々の店に世話されたが、料亭[illegible]女中見習となった石原芳子さん[illegible]見るもの聞くものあまりの想像違いに驚き、翌二十三日店から四千八百円を盗み出して一人で帰郷してしまったので、残った岩城鶴子さん、北村美代子さん(一七)=仮名=の二人は驚いて夏川方に集った。『石原が金を盗んだのは君達にも責任がある。働いて返さねばならない、早く金を返すために前借りのきく店で働いてくれ、さもないと僕の立場がない——』こうして夏川は本能的に泥沼の臭いをさとって逃げた芳子さんの責任を残った二人にかぶせ、吉原に小林と共謀二人の制服の乙女を一人二万円の前借で売りとばし、その金は自分らの懐にしまいこみ、二人の少女達にはビタ一銭も渡さなかった。結局石原芳子さんの逃亡事件を餌にまんまと二少女は狼達のワナにひっかかったわけである。

楽屋裏で人気スターを待伏せる女学生ファンの群

風流世界譚　…(日本)…

現代はMとWのさかさ時代だそうで、女らしい男や男らしい女がウヨウヨ…。このまま行ったらどうなるか先が思いやられますが、『キ用波が荒れる位でなくちゃ』と初秋の鎌倉くんだりにでかけたP子嬢。ボーイフレンドに、波でひっくりかえったクラゲを指さし『あんなの陸にもあるわね』と"カマゴジラ"ぶりを発揮しています。何せ髪はリーゼントスタイルでマンボズボン、ワイシャツの腕まくりといういでたちの上、M要素過剰の言葉つきですから、ちょっとみた目には男も変りません。これがP子嬢礼賛のメラ男君たちを従え、傍若無人のオテンバ振りを発揮しますので、浜のナラズ者は白い歯をむき出してにらんでます。それとは知らぬP子嬢、ゴロンボの一人が投げ出した足につまずくと、彼好機ざんなれとばかり上り大喝一声『ヤロー』これにはW過剰の取巻き連[illegible]になりましたが、P子嬢[illegible]たるもので『ヤローったってあんた、こう陽が高くちゃ[illegible]分が出ないワよ』

女学生のお嬢さん　6日間の記録

新吉原の特飲店『初菊』経営者塩野茂夫(四三)に売り飛ばされた二人、北村美代子さんが保護された警察で供述した『悪夢と恐怖の六日間の生活記録』にもとづいて、記者が彼女にかわりその手記を綴ってみた。

◇七月三十日　鶴子さんと二人で昨夜は家が恋しくて泣いてしまった。芳子さんが福岡へ帰ってからは一層淋しくなり、これからいつ懐しい私の家へ帰れるのかと思うと、お母さんや妹達の顔が目に浮んで一晩中泣き明かした。午前十時ごろ、私達の仕事を探すといっていた夏川さんのところに小林というおネエさんが訪れ、夏川さんと何かコソコソ密談した後『きみたちの働き口が見つかったから早く支度して出かけよう。向うへ行ったらつらくても逃げた石原のためにお前達が働くんだからおとなしくしているんだぞ』と夏川さんはいつもより言葉するどくいう。どんなところか知らないが、鶴子さんと一緒に働いて早くお金を返して家へ帰りたい気持ちが一杯で、いわれるままタクシーに乗り、吉原とかいう(後になってわかった)同じ造りの家が何百軒も並んでいるところへ連れて行かれた。午前十一時ごろだというのにこの街はまるで寝しずまっているような静けさで驚いた。間もなく車は『初菊』と書いた家の前にとまり私達はそこで下車、夏川さん達にみちびかれて家の中に入った。ここのお内儀さんだという二十六、七才の人＝塩野の妻初江(三七)＝が出てきて私達二人を部屋に残し、夏川さん達と三人で別の部屋に行き二、三十分たってから『ではよろしくお願いします』と夏川さん達はお内儀さんに頼んで帰ってしまった。その後お内儀さんは『ではあなた達は今日から私のところで働くんだよ、今日はお勝手仕事をやって頂戴』といわれテーブルや椅子が置いてあるお店をお掃除していると起きたばかりの女の人達が私達を見ながらお内儀さんと話をしていた。ここはもとカフェーで、私達は女中に使われもしなかったのでとてもねむい。けれどこの店の正体を知ったおそろしさでそれどころではない。午後四時ごろまではお掃除やらで忙しかったが、仕事が終るとお内儀さんに呼ばれ、何んだろうと行くと二着の洋服を私達に渡し『さあこれを着てごらん。お化粧をすれば立派な女になるよ、こわいことはないから今晩からお店に出るんだよ』といわれた。私達は一瞬ガクガクふるえて何もいえなかった。いよいよ来るべきときが来た。まさか—と思ったのに……思わずまたお母さんの顔が目に浮かび泣き出してしまった。するとこんだわと思い『仕方ないわネ』と鶴子さんと話し合った。けれど夜になってこのお店が何んであるかを知ったときのおそろしさ…。この夜はお内儀さんが『早く寝なさい』といったので鶴子さんと二人で四畳半の部屋で寝たが、恐ろしさで二人ともまんじりともせず『どうしよう』と相談したが、いい知恵は浮ばなかった。

二人の女学生が装いこらして店に出た新吉原の『初菊』

無我夢中の初夜
女中奉公、正体知ったその怖ろしさ

◇七月三十一日　昨晩まんじりともせず泣いた私は、またすぐ母の顔を思い浮べた。母はこんな恐ろしい出来事を知っているだろうか。いや知るはずはない。私ってどうしてこんな悪い子になってしまったのだろう。それにしても私はいつまでもこの家にいなければならないのだろうか。悔悟の心が私の全身を襲った。福岡に帰った芳子さんが憎らしくうらやましくなる。あの人のために私達がこんな身体になってしまったんだと思うとたまらない。官吏である厳格なお父さんに何んといっておわびしよう。東京に来るんではなかったと、とめどなく後悔の涙がほとばしってくる。今晩も昨夜と同じ恐怖の一夜を過ごした。

この女給さんらしい人が来て『あなた達可哀想ね、はじめは誰もそうして泣いたものよ、いまになれるわよ』と慰めてくれるのか私達の事情も知らないで……と情なくなってしまった。お内儀さんがせきたてるのでいやいやながら渡された洋服を着、いわれるままお店に立った。前を歩く人達の顔もみえなかった。ただおそろしい気持で、そこに立っている自分が私だとはどうしても思えなかった。あすは死んでしまおうかと頭をかすめた。鶴子さんの顔をみると青ざめて考え込んでいるのがわかる。何が何んだかわからなくなってきてしまう。そのうちお内儀さんが私を呼びにきた。『お客さんだよ』と三十才前後の男の人を私につけ、お部屋に連れてゆかれた。布団の上の二つ枕を見て思わずフラフラと崩れた。そのお客がびっくりしたようだった。あとは何もわからなかった。

◇八月一日　おそろしい無我夢中の一夜は過ぎた。朝起きるとすぐふるえが止らないような気がした。

◇八月二、三日　初めての晩から少しなれてきたものの、恐怖と苦悩の夜が続く。私はこんな空気になれてくることが恐ろしくなってきた。お父さん、お母さんご免なさい、美代子は本当に馬鹿でした。

◇八月四日　もう夜のことは恐ろしくて思い出すのも嫌になる。午後部屋で寝ていると女中さんが私と鶴子さんを呼びにきた。また何か嫌なことをいいつけられるのではないかとヒヤヒヤしながらゆくと、お内儀さんは二人の男の人に何か調べられていた。私にはその人達が刑事さんだということがわかった。刑事さんは『北村美代子さんと岩城鶴子さんですね、もう大丈夫です安心なさい、お父さん達のところへ帰しますよ』といった。私はあまりの嬉しさに鶴子さんと抱きあって大声をあげて泣いた。こんな嬉しかった気持は生れて初めてだった。私達は助かったのだ。もうあんな恐怖の夜は過ごさないでもすむのだと思うと嬉し涙が流れて困ってしまった。内儀さんも私達の顔をみつめるだけで何もいわなかった。やがて内儀さんと一緒に刑事さんに連れられて警察に行き夏川さんと小林という女の人にも会った。この人達が私達にたとえ六日間でも死の苦しみを与えたのだと思うとほんとうに憎らしくなった。私は救われたのだ。しかし父や母のいる家へ帰って、いままでの出来ごとをどう語ったらよいか心配になった。しかしその心配よりも、家に帰れる喜びが大きかった。ともかく早く帰りたい。悪夢のような東京の十数日間、ほんとに恐ろしい人達のいる東京。それをふりかえって私はつきり『もう二度と東京にきません、私はやっぱりあの田舎の街と、母と父が一番好きです』と心に誓った。

モダン歳々記　関東大震災

大正十二年九月一日午前十一時五十八分、関東地方に起った大地震は大東京の半分を灰燼に帰し、数万の惨死者を出したが、中でも本所の被服廠跡のグロ池を埋めて焼死んでいたのも悲惨の極みであった。B29による戦災の時もそうであったが、男の焼死者が仰向いて死に、女の焼死者が俯むいているというのも不思議な現象で、その衣服を焼かれて裸体となっている焼死者や、皇居前の濠端で女達が行水を使っている写真等が、あのころには猥写真なみにひそかに売られていたものである。

東大教授の大塚保治博士は、その芸術論の講義で、この震災の悲惨状がひどく、また籠の鳥といわれた吉原の娼妓達が、廓内のオハグロ池を埋めて焼死んで[illegible]劇をダンテの神曲地獄篇に比較してのべられていたが、想像できる残虐美の一例としてそういう客観的な観方も出来よう。女性の洋装がまだ一般化されない時代で、下着もスカスカの腰巻だけで、こんな非常時にははなはだ見苦しい格好を示していた。避難民は不通になった省線の線路伝いに歩いていたが、駅のホームに上り下りする度に女達はしっかりかがんで前をどうしてかくしたらいいかと赤面したものだ。忘れられぬ風俗史の一断面である。(鮭)

東海毒婦伝　青とかげ (55)

野沢純 作　土端一美 画

情炎卍 (十)

ラジオとテレビ

31日(水)

★NHK第2★ 690KC

05	英語会話◇きょうの市況
20	受信機講座　市原嘉男
30	科学小説『海底一万浬』
00	名曲鑑賞　ラヴエル・ピアノ曲集　カサドジユ演奏
30	電子顕微鏡で見た世界

★ラジオ東京★ 950KC

10	東西こぼれ話　高野[illegible]
15	スイート・コンサート
25	ファイヴ・ゲーム
10	録音ニュース
20	ホームソング　長門[illegible]
30	劇『織田信長』中村[illegible]

夏休みアルバイト総決算

めぐみの異常高温

就職率、尻上りに向上

年の暮とならんで夏休みは学生アルバイトの書入れ時。この夏は二十数年ぶりの異常高温とあってバイト学生が流す汗も例年の数倍だったというが、果してその汗の報酬はどうだったろうか、夏休みの終末にあたり、バイト総決算を九段学徒援護会と東大アルバイト委員会にきいてみた。

豊年型 二つのブーム

○…昨年はデフレ政策のため各社のアルバイト引締めがひびき学生にとり最悪の年だったが、今夏は業界も一応安定したことや、異常な好天が幸いしてアルバイト戦線は非常に好調だった。学徒援護会で調べた今年七月の就職者は二万一千名で昨年同期に比べて約二千名の増加、しかし求職者もふえているので就職率は二〇・五％と昨年の二二・八％に比べていくらか悪かった。しかし八月は昨年に比べて約二倍の就職率で、七、八月を通じ就職率は二五％をこえると見込んでおり昨年に比べて相当上回った。学徒援護会では就職状況がよかったのは、例年七月は求職者が殺到するが、八月に入ると帰郷する学生が多く、就職率が低下するので、七月は都内在住者になるべく遠慮してもらい、地方から東京へ来ている者に職を与えるようにしたため、計画的に就職あっせんできたのも一因だとみている。

○…今夏の特色は自由競争が激化したためか、サンドウィッチマンなど宣伝関係の求人が目立ってふえたことや、各家庭内での仕事が多かったことだ。すなわち各家庭で草むしりや垣根作り、鳥小屋作りなどの手伝いだが、一般家庭でも余裕ができた現われとみられる。東大でもこれからのアルバイトはもっと家庭の中へ食込まなければならないというので、お家芸の家庭教師のほか、大工仕事などで求人開拓を行っている。大工仕事は学生間でセミ・カーペンター（半人前の大工さんの意）と称しており、東大アルバイト委員会ではノミ、カンナなど大工道具一式をそろえて、希望者に貸し、あっせんに力こぶを入れている。

結婚式場は大繁昌

記録やぶりの予約申込み

大安吉日は11月まで満員

暦を一枚はげば九月、いよいよ結婚シーズンの秋でもある。各デパートでは早くも花嫁衣裳の飾付などに忙しい、そこで都内の式場を訪ねて挙式やら予約状態、結婚費用、この秋の新傾向などあれやこれやをきいてみた。

まず神前結婚の元祖だという東京大神宮では十、十一月の挙式予約数が既に三百組を越えこの分だと五百組は軽く突破し、当神社のレコードになりそうだといっており、大安、吉日を選ぶ傾向は変りはない。『ひところあまり大安にこだわっていなかったがこのごろ大安を特に…というのは世の中がゆとりができたからでしょう』と語っていた。折から予約申込みにきた二人連れにきいてみる。『僕たちはそれ程こだわっていませんが親達がネ…』とのこと。すいている日さえあればいつだっていいから早い方が…といいたげだった。

一方秋のシーズンには約千組からの結婚をさばくという明治記念館でもすでに十、十一月の大安は満員締切りで縁組ブームに嬉しい悲鳴——。一組の挙式が二十五分程度で、次から次へと入れ代り立ち代りの式をすませて費用はざっと二千円。その他に貸衣裳代が二千円、写真代が二千円、披露宴をやると三、四万円は消える勘定。

近ごろの結婚の新傾向を明治記念館結婚相談所できいてみると『みなさんが慎重になりつつあり、三十ムスメというか適令期を過ぎた娘さん方はやはりあせり気味』とのこと。ここへ訪ねる男女のほとんどは職業についている人達で職場結婚はあまり好まない。理由は『目出度くゴールインしても同じ職場では共稼ぎが出来ない。もし求婚して断られたりすれば気まずくて勤めが続けられない』などがあげられ、結局相談所を訪ね『内密見合』により恋愛コースをたどるというのが望みらしい。なお住宅問題も新郎新婦にとっては悩みの種であり、もし住宅難が緩和されれば結婚数はもっと急カーブに上昇するだろうと係の人は語っていた。

一方デパートには早くも花嫁衣裳がずらり並べられ、新生活運動どころか最低で十万円、最高となれば三百万円というケンランゴーカなデフレ知らずの特級品もある。また有史以来の豊作をあてこんで調度衣裳セット百万円というのもある。トースター、ミキサー、電気洗濯機、フリッヂ、布団など一式だが、ボツボツ農村方面からの注文があるという。

【写真は日本橋Tデパートにて】

一線記者のポリスボックス・リレー ⑦日本橋室町

デパートの案内役

多い迷い子、スリ、盗難

○…三越、高島屋、白木屋などのデパートが肩をいからして立並び、三井銀行本店をはじめがっちりした骨組のビルディングが魔物のようにそびえている。田舎出のお巡りさんが真夜中にパトロールするとなんか薄気味悪いというこの界隈。そのうえデパートの催し物の警戒という余分な役目まで仰せつかり忙しいことおびただしい。

○…比較的客筋のいい筈の三越あたりでも先日催した水着コンクールには裸ショウのつもりで詰めかけた世の鼻下長族がモデル嬢のお尻を突っついたり、甚しいのは興奮の余り自ら露出狂となりワイセツで数名が警察に連行される始末——。迷子もまた多い。これは団体バスで地方から見物に来、反対側の出口にきてキョロキョロしている間にバスが発車。こんなのは上野の旅館に照会すれば百％間違いなく身許が判るそうだ。また名古屋から観光バスでやってきたお婆さんが交番で三時間も待たされ心細くなって『私が帰らないと伜の嫁が……』と愚知をこぼしてシクシク泣き出し、天涯孤独の一人ものになったようなことをいうのにはお巡りさんも面食らい、慰めるのにはひと苦労——。

鉄道工場荒す

日鮮米の国際ひかり物盗団

品川赤線で殺人

路上の喧嘩 他の一人も負傷

利子の代りに肉体

石神井の不良 二グループが暴行

大雨、浸水のおそれ

東京地方、寒冷前線通過

雨あがり涼しくなる 台風のない二百十日

死傷行方不明八名

【札幌発】北海道中央部の豪雨禍 三十日朝から北海道中部を襲った豪雨は三十一日朝ほとんどやんだが、石狩川流域は洪水警報発令中で多度志、深川では水位を突破している。三十一日までの被害は死者、行方不明八、負傷五、浸水家屋二千余戸に達した。

豪雨で川となった旭川市内の繁華街＝札幌電送＝

迷路ガイド

解答 荘田修一郎

慎しめ、疾病の恐れ

再婚をひかえ悪癖になやむ女性

エムさん

都宝くじ当選番号

等	賞金	組	番号
1等	（300万円）	4組	158739
2等	（100万円）	4組	191311
◇残念賞	5千円	1.2等の組違い同番号	
3等	（30万円）		193699
4等	（20万円）		175494
5等	（10万円）		143215
6等	（5万円）		171609
			146339
			126590
			120901
7等	（1万円）	下4桁	9141・5475
8等	（1千円）	下3桁	429・661・605
9等	（100円）	下2桁	46・68・95
10等	（50円）	下1桁	2・3・7

続 情炎の千代田城 (225)

岩崎栄　寺本忠雄画

荒浪や(三) [illegible]

[illegible]た。急ぐ旅でもあった。[illegible]それでも、すでに日が暮[illegible]ている。旅籠の客引や、[illegible]などが袖を引かないばかり[illegible]とかった。

[illegible]し、お静は今になって後悔[illegible]る。路銀が無くなったの[illegible]とあの三吉のところからも[illegible]てこなかったのか、とそ[illegible]性のわるいインチキバクチ[illegible]取っている金だ。いくら持[illegible]たって、ちっとも気の引け[illegible]はなかったのに――と。[illegible]ころでは、どうにもならな[illegible]いと、イキな親分さん! [illegible]てくださいな。あたいが一[illegible]場に入って、足の裏まで洗[illegible]けて、それから……ねえ、[illegible]おくんなさいよォ』[illegible]だ。急ぎの旅だよッ』[illegible]いい声ねえ、役者衆みた[illegible]ああどうしよう、あたい一[illegible]したよォ』[illegible]客引も追っかけて、押し並[illegible]親分さん、これから夜みち[illegible]谷越しは、いのちがけです[illegible]のごろはまた、たちのわる[illegible]の山賊が出るってことです[illegible]判ですよ。きのうも、おとといも、[illegible]が斬られたってえんで、え[illegible]ですよ。わりィこたァ言[illegible]泊っておくんなさいやし』[illegible]すすめられても、脅かさ[illegible]泊ることの出来ないお静[illegible]振り切って、夜の宇都谷[illegible]みかかって行った。[illegible]負う海道一の魔の峠だ。[illegible]よそ、どれだけの旅人[illegible]いのちを奪われたこと[illegible]

来ている。

ぼうぼうと、風の冷たい草っ原に五六本の老松が立っていて、その下に無縁塚や六地蔵が並んでいる。

いい場所だなア、と地蔵の前の石に腰をおろしてドロドロドロと風の音、本つりがゴーンで、これで旅の人! なぞと、芝居の幕を待つような気持になっていた。

『早く出ないかなア』

待つものは出ないで、アクビが出そうになる。立ち上って、思いっ切り伸びをし、アクビをして、

(さて、これじゃ稼ぎにならないが――もしかしたら、ここを東へくだったあたりで、どこかに山賊の足場があるのかも知れぬ。いっそ、もすこし下りて見ようよ)

思案を変えて、一と足踏み出そうとしたとき、出た! まさに現われた。松の下から待望の山賊だ。

暗くてよくは判らぬが、身なりも足ごしらえも、肩へ斜に包みを背負ったあたり、さながら岩見重太郎みたいな山賊である。

『おい、ちょっと待ったり』

お静の方から声をかける。

『ああ、こんばんわ』

とはまた、妙な山賊だ。だが、問答無益だ。

『うぬッ』

いきなり斬りつけて行った。

芸能人の野球熱

秋のスポーツ・シーズンがようやく近づくにつれて、芸能人の野球熱もますます嵩まって来ているが、一たい本当は誰がどのように巧くて、どのようにお熱があるか? 以下ひとわたり大天狗、小天狗の腕前のほどを打診してみよう。

映画人

鶴田浩二　池部良　益田キートン　旗照夫　ロイ・H・ジェームス

好敵手灰田、鶴田両チーム

益田キートンは本もの

▽…まず筆頭に書か[illegible]文句の[illegible]な、自[illegible]野球熱[illegible]田勝彦[illegible]。投手[illegible]監督兼四番打者の彼は、自から『野球の片手間に歌を歌ってんだよ』という通り自信満々。どんなに機嫌の悪い時でも野球の話をすればケロリと笑顔になるというマニヤだ。腕前の方もまず芸能界では一番といってよさそうだ。いつかのように在日二世のチームと試合の最中、イチャモンから喧嘩さわぎで大怪我をしたなどという武勇伝もあるくらいだから、そのお熱の具合も押しはかれようというもの。

この灰田チームと好敵手でしばしばお手合せをしているのが鶴田浩二チームだ。彼も監督で主将で投手で四番というところは灰田と同じだが、最近本職なみにナイターでくりひろげた灰・鶴戦では8―3のスコアで負け、駒沢球場のグラウンド代八万円がとこを払わされてしまった。そこで口惜しがった鶴田チームはこのところ連日のように駒沢で猛練習をしているというから、雪辱戦の日が待たれる所以である。

▽…この二人に続いては根上淳、菅原謙二、池部良、伊藤久哉、佐田啓二、伊沢一郎、木村功、近衛十四郎、大木実などというところが小天狗クラス。根上は先日の映画人オールスター戦に投手として出場すべくウォーミング・アップも入念に腕を撫していたところ、試合開始を待たずして撮影所からセット入りのお使いが来て口惜しがっていた。菅原も自分のチームを持っている狂のうち。木村、大木、伊藤、伊沢らは内野、近衛は打棒を買われて外野とそれぞれ小ウルサイ存在である。

▽…ここで忘れ[illegible]藤寅次郎監督の[illegible]杵ヅカの益田喜[illegible]ジロー投手はま[illegible]ールで相手打者[illegible]ー型変化球? [illegible]ンは戦前の都市対抗で鳴らした函館の名門太洋クラブ(函館オーシャン)のレギュラーとして大いにその好守と強打ぶりを見せたのだから本物である。

斎藤、金語楼合同チーム、右から斎藤寅次郎、内海突破、柳家金語楼

灰田チーム、立っているのが灰田勝彦

舞台人

"狂"の字のつく金語楼

▽…舞台人の方では狂のつくのが金語楼、桃太郎、柳沢真一、旗照夫、それに各歌舞伎劇団のチームなどだろう。金語楼チームには内海突破、江戸家猫八なんて手合も怪しげなグローブ捌きで出てくるし、監督金語楼は時に投手を一、二回やるだけでもっぱらピンチヒッター要員だ。弟の桃太郎のチームや落語家を集めたホワイラーズなんてチームも、もっぱらグラウンドだけは立派なところで、ラグビーみたいなスコアで勝ったり敗けたりして騒いでいる。柳沢や旗が所属しているのはNDTチームで、このところ女子野球の雄Aワンや、はりまや劇団を破って大いに気をよくしている[illegible]るが、見かけに[illegible]立って巧いシ[illegible]が旗照夫で、中堅[illegible]水秀男と共に打[illegible]このチームに時[illegible]称大投手の声[illegible]レートを踏まない時はもっぱら[illegible]野で奇声を発している。

コロムビア・ローズ

その他

お色気紅二点

▽…この他ラジオで司会をやっているロイ・H・ジェームスもかつて明大野球部のユニフォームを着て神宮球場の入場式に出たことのある長身の豪[illegible]けはやったことのある長身の豪投手だし、コロムビアの鳴海日[illegible]夫、岡本敦郎、ビクターの宇都美[illegible]、テイチクの真木不二夫あたりのユニフォーム姿だけは堂々たるもの。梅幸監督率いる菊五郎劇団の島田正吾主将率いる新国劇チーム、さらに花柳喜章主将率いる新チームなどいずれも揃いのユニフォーム姿で颯爽としているが、実力のほどは"?"というところ。新国劇チームがグレイのユニフォームで島田正吾以下全選手が都電に乗って球場へ乗り込むところなど、いかにも新国劇らしい質実剛健さだ。女流では新派の市川紅梅、レコードのコロムビア・ローズの紅二点といったところだが、やっぱり美人のおイロケ戦法もグラウンドでは通用しないらしい。

オールスター・メンバー

さて最後にお慰みまでにこれら芸界球人の中からオールスター・チームを作ってみよう。俺が入っていない、と文句をつけるべからず。

(監督)	斎藤寅次郎
(投)	灰田勝彦
	鶴田浩二
(捕)	木村功
(一)	ロイ・H・ジェームス
(二)	菅原謙二
(三)	益田喜頓
(遊)	旗照夫
(外)	根上淳
(外)	大木実
(外)	池部良

宮桂子 東宝

(三)ツ編みにしたお下げがネズミの尻尾で、根元には蝶のようなリボンが二つとまっている。その全体がピクピクと揺れているのは彼女が笑っているからだ。十八才になってからまだ一ヵ月と二十日余りのオンナの子なのだから、何でもおかしいのも無理はない。そのくせ『九月から試験なんですよ。だから勉強しなければいけないのですけど、何となく夏休みは遊びたいしねーェ』と一緒にいるお友達に真面目※な顔で話しかける。硬軟自在な表情?の転換ぶりである。といっても彼女がマンボ調で『あらアンタシュミチョロだわ』『Hッポイわね』などというオズベざんでないことは保証できる。

典型的な十代娘

硬軟自在な表情の転換ぶり

(そ)うですよ。とってもはにかみ屋で人とお話なんかできなかったの。それでも学校ではリレーの選手なんかやっていたし演劇部にもいたから有名だったのは前からなんだけど』という。とにかく宮桂子は典型的なティーン・エイジャーだ。

『今年の夏はね、軽井沢へお友達と七人で遊びに行ったの、歌を歌ったり、馬に乗ったり、楽しかったワー。それにね、アタシは自動車も運転できるのよ。ワアー、おてんばじゃないわ。活発なんですよ。アッそうだ、アタシ犬が好きなの。この間ね谷口先生(谷口千吉監督)のお家へ遊びに行ったらねーエ。可愛いスピッツの子が三匹もいるのよ。とってもほしかったのだけど先生や奥さま(若山セツ子)が、すごーく可愛がってるもの。下さいなんていえなかったわ。それからねーエ…』仕事の話でないとこれだけしゃべるのである。だから彼女にとっては目下のチャンスなどてんで『メじゃない』わけなのだ。

(隣)からツーンとすましていた友達が、その時彼女の脇腹をチョイとつついたものだ。『あまりくだらないことをペラペラしゃべるんじゃないわ』という信号なのだろう。彼女がペロッと赤い舌を出してうつむいた。まったくティーン・エイジャーなんてむずかしい。きっと帰ってから友達と二人で『あの人はチャンス到来だなんていって、アタシの映画見てくれてるのかしら?』などといいながらネズミの尻尾をひっぱっているのかもしれないのだ。

苅田豊美 (SKD)

▽…舞台実習の名目で一昨年九月国際劇場のショウ『美空ひばりの陽気な水兵さん』に初舞台を踏んだSKD八期生のチャキチャキである。かつては球界の名人として、いまはパ・リーグの審判として活躍している苅田久徳氏の愛娘であることとは既に有名なことだろうが、横浜の生れでことし二十才と二ヵ月。日舞(花柳流)を得意とするのは花柳輔蔵門下の名取りである母親の影響でもあろう。五尺三寸、十四貫。両親譲りの美貌は同期生のうちでも最右翼。映画界からもしばしば誘いの手がのびている所以だが、本人はまだ踏ん切りがつかないというところらしい。声質はジャズ向き。トニー・カーティスのファンで、カリ公という愛称で呼ばれている。現住所=横浜市南区南大田町四の三八二

新人山脈

日劇M・H次回公演

日劇ミュージックホール次回公演は九月二日初日で岡田恵吉、加藤忠松構成・演出のファンシー・フーリー・フォーリーズ『願ったり叶ったり』と決定。舞台装置は益田義信、振付は関直人(小牧バレエ団)和田佐紀、高岡繁夫、大村重高が担当する。主なる出演者は三遊亭小金馬、三遊亭歌奴、代々木明子、山手純、ジェニー愛田、木田鶴夫、木田亀夫、張静子、ダーク・スター・トリオ、カワッタ・トリオ、亀田登、伊吹まり代、奈良あけみ、邦ルイズ、園はるみ、春川ますみ、K水町、パール純、藤原みどり、その他。

なお九月からは再び二ヵ月公演を復活、他の東宝系劇場との出演者の交流をはかるため月始めの初日、月末の千秋楽を守ることになったが、大阪のOSミュージックホールの方は二ヵ月は保たないため一ヵ月毎に二の替りを出すことになっている。

歌舞伎ト争叩ばなし

火事

舞台でふり回した火の粉で見物の子供がヤケド

先代訥子が『大川友右衛門』の熱演で

(一)口に『地震、雷、火事、オヤジ』というが、芝居道では火という字さえ禁句となっているほどだ。だから火事場々面があると、昔から舞台裏は大騒ぎだ。

大正五、六年頃浅草の十二階下の吾妻座で先代沢村訥子が、初代左団次の当り役だった『細川の血達磨』という芝居の大川友右衛門を演じた。見せ場は、友右衛門が猛火の中を宝蔵から御書印を救出し切腹して腹中に御書印を入れて守護するというスペクタクル場面である。その時は刺子姿の火消し連が消火用のホースを引きこんで舞台裏に詰めこむ騒ぎ。いよいよ訥子が花道から登場。とど切腹して腹中に御書印を入れて大見得を切るクライマックスの一瞬、猛優が熱演のあまり『エイッ』と振った袖についていた火の粉がパッと飛び散って、ちょうど前列から二、三番目で見ていた僕の近くの子供の頬に当った。子供は『お母ちゃん、熱いよう』と母親に泣きついた。舞台の訥子はそれどころか、全身火に包まれての大見得の大熱演。大向うはこの場の幕が明き、吉右衛門の部の『梅川忠兵衛』封印切りの中日を過ぎたころ、夜の『紀の国屋ァ』と大変な騒ぎに加わっていた。

(昭)和二十三年一月の帝劇、に中村吉右衛門一座が出演した時だ。僕はこの芝居の客席の火傷騒ぎなどは全く忘れ去られていた状景が僕は子供心に強い印象を受けた。

忠兵衛がクライマックスの封印切りのくだりがすみ、芝翫現歌右衛門の梅川に事情を打明け、梅川が嘆くのを『コレ』と制して上下にきまった時だった。突然きなくさい臭いがすると共に、舞台前面オーケストラボックス辺から煙が立ちこめてきた。すでに暮の火事の一件が素早く観客の頭を支配したのであろう。一時に客席がざわめきだした。舞台の袖にいた僕達は『どうしたんだッ』とばかり火元を探しだした。と、燈台下暗しで、さんざん探しあぐんだ僕が網元のところまで戻ってくると、ちょうど焼け落ちた劇場の外側の地下で、何かパチパチと音がする。戸をあけてみると、若い電気係や大道具の人達が、外部だから大丈夫と思ってか焚火をしていた。『舞台に煙が入って大変な騒ぎだ』といって、水をかけて消した。これで一時総立ちになった観客もやっと落ちついた。

(ど)うやら芝居は続行された。然し納まらないのは吉右衛門だった。幕が切れるが早いか、二階の吉右衛門の部屋に素っ飛んで行って『申訳ありません』とあやまると、あの苦み走った顔に小さいが鋭い眼光を光らすと持っていた煙管でポンと一つ煙草盆の灰吹竹をたたいて『あなた、お客様に申訳ないじゃありませんか、ええ…』と『加賀鳶』の『質見世』の松蔵もどきにグッとにらんだ仰せ御もっともで一言もなかった。

(波木井光太郎=劇評家)

故吉右衛門の『梅川忠兵衛』

寄席上席

上野鈴本=(昼)喜代太夫、円太郎、百生、さん馬、円蔵、正蔵、小さん、和子・〆子、円歌、円生(夜)春楽、馬楽、つばめ、馬風、千太・万吉、柳枝、志ん生、文楽、小仙・小金、龍光、右女助

新宿末広=(昼)伸治、遊三、山陽、柳橋、ひろし・まり、円馬、可楽、李彩、柳好(夜)米丸、枝太郎、助六、シャンパロー、小文治、痴楽、牧野周一、正楽、今輔、びん助・美代鶴、円遊

人形町末広=小せん、笙子・美智子、小円朝、美蝶、円蔵、さん馬、英二・喜美江、円生、円歌、小さん、千太・万吉、志ん生、柳枝、馬生

池袋演芸場=(昼)今之輔、小柳、夢楽、枝雀(夜)柳昇、小円馬、梅橋、牧野周一、円右、びん助・美代鶴、今輔、紋也、柳橋、ひろし・まり、小柳枝

川崎演芸場=りう馬、雛太郎、山陽、彰吾・雪恵、円馬、枝太郎、柳好、シャンパロー、小文治

本牧亭=(昼)連山、琴洲、松鯉如燕、南鶴、山陽(夜)女義太夫会(四日まで)一心会(五日)新内志賀太夫会(六日)邑井操会(七日)鶴賀梅太夫会(八日)田辺南遊会(九日)岡本文弥会(十日)

おしゃべり横丁

大喜作以後…

"田舎へ行こうよ……。"

―真木不二夫

都々逸

小沢扇太郎選

青い灯赤い灯酒場が恋し 今夜も身を焼く火取虫　板橋・佐々木緑亭

青春の夢は儚なくはかなく消えて 心に残った傷一つ　板橋・福田季味子

恋にやつれた身の置場所もなくて見つめる青い海　長岡・鈴木六可仙

恋をしている吐息になって 肩へ侘びしい月明り　品川・鳥居八重子

せんべい布団へくるまる二人 ダブルベッドの夢を見る　日本橋・宮坂しのぶ

◇

あたしと名差しの一本檜に 招ばれる座敷へ出る怖さ　選者

はと笛

▽…東宝の『ジャンケン娘』では江利チエミ、雪村いづみ、美空ひばりの三人が初顔合せなので、このところ撮影所はもっぱらジャズ・ブームといった案配だ。撮影で至極快調だ。つい先日もチエミが歌うシーンで歌も例の『パパ・ラブス・マンボ』という十八番、大張り切りで歌ったチエミがラストで『ウー』といったとたん杉江監督が『ハイ』の代りに『ハーッ』という始末でセット内が大爆笑だったとか。まったく世はマンボ、マンボでウーというわけ。【写真は江利チエミ】

▽…そこで演出の杉江敏男監督もちょっとしたマンボ・スタイルの[illegible]

その道をきく

"どんな商売でも、権威、成功者と呼ばれる者には、それ相当の苦難もあろう。そこをどう乗り越えたか?"その道をきく"のは、以って他山の石としたい念願にほかならない。

温情社長とベテラン専務

鎌倉ハムの声価の蔭にあるもの

KK鎌倉ハム富岡商会 専務取締役 保谷千代松氏

栄養といえば豚、牛という程、明治以来八十年間で、日本人に植え込んだ肉食の効果は著しい。年間の畜殺数は牛三十万頭、豚百万頭、その他馬、山羊など相当量あるというから日本人の胃袋も大きくなったものだ。

一方、ハム、ソーセージの歴史もこれに続いているが、ハムの生みの親は英国船のコック、日本の女性と結婚してホテルを経営したときホテルの使用人益田という人が製法を会得して戸塚で商売を始めた。当時戸塚は鎌倉郡に属していたところから『鎌倉ハム』と呼ばれるに至ったものである。現在の『株式会社鎌倉ハム富岡商会』が即ちこれだ。

初代社長は富岡蔵氏、二代目貞吉氏、現社長は周次郎氏で三代目である。早大商科出身の青年実業家で、働く者に理解があるというしい経営者である。社長を助ける専務保谷千代松氏は仕入、製造、販売を一手に引受け、席の暖まる暇もない活躍をしている。業界三十年のベテラン。この好組合せで鎌倉ハムを日本一の会社にしている。

業界の指針

井上さんの目先予想

井上商店 代表者井上守衛氏

日本経済新聞などに枝肉目先予想を発表して一般の枝肉業者に感謝されている人に東京食肉商業協組副理事長井上守衛氏がある。中央区新富町電停前『有限会社井上商店』の代表取締役だ。明治五年創業の店で、氏は三代目。後を継ぐや不振の店を盛り立てるのに一人で得意先を歩き努力したという苦労人である。それだけに経験も豊富、予想もよく当るわけだ。

"肉は近江"の名声 広めた犬井さん

KK犬井商店 社長 犬井嘉市氏

東京都下食肉業界のベテランとして三十数年の経験と実力を持つ株式会社犬井商店社長犬井嘉市氏は明治三十三年生れというから現在五十五才滋賀県の出身。

氏は苦労人で頭の低い近江商人。はだか一貫からたたきあげた人だけに戦災にあい、色々な失敗をかさねる毎に店が大きくなっている。神田神保町一ノ六一に小売部を、六十五番地に卸部を設け手広く営業を行っている。

販売網確保が成功の基

渡辺製菓株式会社 代表者 渡辺綱蔵氏

数多いパン業者中の俊才だ売ることに絶対心配しないというシステムを造って成功しているのが『渡辺製菓』である。都内四百個所に専売所を確保し必要だけを製造して必要量だけ配達すればよいというわけ。渡辺氏は岡山県の産で土地の中学を卒えると上京一時深川の菓子店に見習のため入り一年後には早くも独立した。間もなく確固不動の態勢を敷き以来三十年誠心誠意大衆にあきられぬ製品を造ってきたことが生涯の自慢であると語る氏の努力は深く学べきものがある。今回の森永事件は私達食生活を預る業者に大いなる警告であり、また深く反省すべきであると語る誠意にあふれた商人である。(本社東京都足立区梅田町一九〇五)

社長自ら陣頭に立ち みごとに再起した光沢氏

東晃商事KK 社長 光沢正剛氏

浅草象潟二ノ八『東晃商事KK』の社長光沢正剛氏は、自から陣頭に立ち裸一貫業績を挙げて来た人である。

二十七才の時業界に入り二十八才で独立したというからそのスピード振りもみごとだが、間もなく昭和十七年九月応召、二十一年復員するまで軍隊生活で辛苦をなめたが直ちに再起、従業員六十名を擁する大メーカーとして靴業界最高の企業体にのし上った。

好事魔多し。二十八年資金操りで失敗し、これではいかぬ、と自から陣頭に立って製造まで手を染めひたすら再起に奮闘。今日ではすっかり立ち上って堅実な道を歩んでいる。失敗時を省みて、ひとに迷惑をかけたことを何より残念というだけあって、再起後の堅実性、奉仕精神は徹底的に真剣だ。茨城県の産、四十六才。趣味は読書、囲碁、麻雀だという。

仕事が人生の凡て

競技靴ではNO1の滝沢氏

ダイヤ産業KK 社長 滝沢正吉氏

登山靴、スキー靴は勿論、その他一般のスポーツ靴メーカーとして名を馳せる『ダイヤ産業KK』は浅草象潟三ノ四にある。

社長は滝沢正吉氏、十六歳で業界入り以来一貫してこの道を歩みつづけ、遂に競技靴ならダイヤという合言葉さえ生れる程に成功した。丈夫で安くて流行にマッチしたものを作りたいという滝沢社長は製品のデザインを一手に引受ける芸術家でもある。苦心の作品には三日四日ぶっ通しで考えつづけることもあるというだけあって、毎年シーズンを飾る新意匠を発表しファンに喜ばれている。

二十四年株式会社を組織、現在従業員三十名のメーカーとなっても、趣味は仕事一本、他に何も考えないという情熱は大したものだ。"仕事をしているときが一番楽しい"という程の勉強家、四十二歳、長野の産。

全国地銀の雄

「埼玉銀行」

埼玉銀行といえばすでに地銀ではない。総預金五九億七千万円を持ち(三十年六月末)その増加率は三月末に比較して五・四%というその増加率において全国銀行中第一位を誇っている。一万貸出総額は四三億一千万円期純益金は三億三千余万円となっている。

これが埼玉県下はもとより、東京都内の企業発展に寄与していることはいうまでもない。当期未処分利益剰金は三億四千八百六四万円を突破し、当落付きを見せ、近く隣接某行の合併も伝えられている。

前途洋々を思わせる。本店(浦和市高砂町二の一六二)は浦和市のメーンストリートに偉容を「市中銀行としての誇りを持て」という存在といわれ、将来は全国銀行中での異彩といわれる堅実な営業方針と手堅い経営陣による。

重役陣中、頭取の平沼弥太郎氏は彫刻に、文筆に文化人としても知られ、副頭取の秋元順朝氏また今日の埼銀を築き上げた練達の人。【写真は下平沼頭取上秋元副頭取】